

(様式3)

事業所名(有)シャトル・グループホームのぞみ

目標達成計画

作成日:平成27年3月2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合の対応・看取りに対する指針の準備はあるが、終末期に向けた施設としての方針の確立とチームで支援できる体制作りを行なう必要がある。	全職員が、看取り介護に関する共通認識を持ち、看取りに対する指針をしっかり理解できるように努める。また重度化した場合の対応・看取りに対する指針を利用者様及びご家族様への説明・同意を得るための資料として活用する。	全職員が重度化した場合の対応・看取り介護に関する共通認識を持ち、一定の研修を設けることを系列のホーム管理者・居宅管理者と定例検討会にて検討した上で法令遵守責任者(取締役)に報告。ホームで支援できる体制作りを努める。	8ヶ月
2					
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。